

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人

情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 整形外科 岡田 恭彰

【研究責任者】

聖路加国際病院 整形外科科 岡田 恭彰

当院で橈骨遠位端骨折に対してプレート固定術を行った方を対象とした、
術後の痛みの比較研究

1.研究の対象

2016年1月1日～2017年10月31日まで当院で橈骨遠位端骨折に対しプレート固定術を行った患者さん

2.研究の目的・方法

本研究の目的は当院で橈骨遠位端骨折に対してプレート固定術を行った方を対象として、麻酔管理を超音波ガイド下腕神経叢ブロックを行い鎮静して行った方と全身麻酔単独麻酔で行った方の術後の痛みのコントロールを比較研究することです。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、生年月日、病歴、術後の痛み 周術期鎮痛薬使用頻度など